

2026年度 つくば共鳴教育プログラム募集要項

通称名：新オーナーズプログラム

理念：「つくばナノテク拠点産学独連携人材育成プログラム」の後継プログラムとして、理念及び教育の方法を引き継ぎ、継続的な人材育成を行う。近未来の産業競争力は、それに係わる人材の育成に掛かっていると云っても過言ではない。そのためには、異なるカルチャーを持った基礎から応用に至る産・学・独の研究者の連携と異分野の研究者の協働による人材育成が重要である。本プログラムでは、人材と研究施設の揃っているつくば地区に数理物質科学の世界的拠点を創り出し、国際的競争力のある高度な連携教育研究を展開して次世代の数理物質科学をリードする人材を育成する。

特徴：世界のトップリーダーに不可欠な3つの力（基礎力、俯瞰力、課題発掘力）を養う教育プログラム。

教育方法：（1）研究群全体としての方針

1) 連携コーディネーターの配置（マルチメンター）

技術・知・人の流れを起こし基礎科学と応用科学の共鳴場を形成させる。

2) 3～4か月にわたる海外留学

（2）研究分野により選択

1) 海外著名教授による夏季集中講義の受講

2) ナノテクノロジー・ナノサイエンス関連の国際シンポジウムの参加

3) TIA 構成機関のインフラ活用を活用した教育

4) TIA 構成機関との連携教育を活用した教育

5) 国内シンポジウムにおいて成果発表の実施

対象：数理物質科学研究群在学生（博士前期課程、博士後期課程）

※最終年次の学生は、後述の海外派遣報告会に参加するため、10月末までに海外派遣から帰国予定の者だけ申請可

募集人数：3名

修了要件：別紙参照

支援内容：学生1人当たり40万円（海外派遣の旅費として支給する。）

海外派遣：3～4か月程度（期間については応相談）

採択日以降、2027年3月31日までの期間内

（年度をまたいでの渡航は不可）

報告会：採択学生は海外派遣終了後、本研究群が毎年11月頃に開催する海外派遣報告会で発表する必要がある。海外派遣終了後の直近の報告会に参加すること。（2026年10月末までに海外派遣が終了する者は2026年11月の報告会に参加する。11月以降となる者は翌年の11月の報告会に参加する。ただし、10月末までに派遣が終了していても人数等の関係で翌年の報告会に参加の場合あり。）

なお、当日の様子を研究群ホームページに画像付きで公開するので、了承すること。

申請書類：応募申込書（研究群HPに掲載）

推薦書（研究群HPに掲載、指導教員作成）

【作成に係る注意事項】

※応募申込書では渡航先及び期間について可能な限り具体的に記載すること。

提出先：所属学位プログラム事務室

提出期限：2026年5月8日（金）

※申請者が3名に満たない場合は、追加募集を実施することがある。

選抜方法：申請者の中から、書類選考と面接等による選抜を行う。

各学位プログラムによる予備選考の後、研究群において採択者を決定する。

結果通知：2026年5月下旬

採択後の留意事項：

- 1) 採択学生は、学位プログラムリーダー（サブプログラムリーダー）および学務委員に海外派遣期間中の課題（授業のとり方、帰国報告書等）について渡航前に必ず確認すること。
- 2) 海外派遣中は現地より2週間ごとの近況報告をおこなうこと。
- 3) 支援は旅費として支給可能な経費に限る。旅費を支給するため、帰国後は

速やかに領収書等を提出すること。

- 4) 予算を超える経費について別予算と合算する場合は、合算しても問題ないかどうか事前に下記の間合せ先に相談すること。

<つくば共鳴教育プログラム実施スケジュール>

月日	実施事項
4月初旬	新入生オリエンテーション全体説明 学位プログラムでのガイダンス
	研究群HPに2026年度募集要項及び申請書類を掲載
	学生は応募申込書様式を研究群HPよりダウンロードして作成する。指導教員に応募申込書の内容を確認してもらい、推薦書の作成を依頼する。
2026年5月8日(金)	学位プログラムへの応募書類提出〆切
5月下旬	採択者決定
～2027年3月末	海外派遣
11月頃	海外派遣報告会の開催 ※2026年10月末までに海外派遣が終了する者は、2026年11月の報告会に参加する。それ以降に終了するものは翌年度の報告会に参加する。ただし、10月末までに派遣が終了していても人数等の関係で翌年の報告会に参加いただく場合あり。
プログラム修了	正課の学位取得及び本プログラムの修了要件を満たした者に修了証を授与する。

【間合せ先】

数理物質エリア支援室大学院教務担当

メールアドレス：jimu-pas#@un.tsukuba.ac.jp 「#@#」を「@」に置き換えてください。